

【2017年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期
			16/3期比		
新契約年換算保険料	(百万円)	3,973	—	52.1%減	14,651
うち第三分野	(百万円)	21	—	144.3%増	21
保有契約年換算保険料	(百万円)	115,991	0.7%減	0.7%減	116,818
うち第三分野	(百万円)	2,694	4.0%減	8.5%減	2,806
保険料等収入	(百万円)	41,138	—	56.9%減	165,436
うち個人保険分野	(百万円)	39,115	—	59.0%減	165,129
うち団体保険分野	(百万円)	67	—	13.0%減	147
保有契約高	(百万円)	1,804,799	0.2%減	0.5%増	1,808,717
解約・失効年換算保険料	(百万円)	1,323	—	22.8%減	3,089
解約・失効率	(%)	1.13	—	0.34ポイント低下	2.65

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険であります。

※16/3期比、15/9期比は増減率（解約・失効率は増減ポイント）であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等であります（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しております。

※解約・失効率は年換算保険料建ベース（2016年9月期、15年9月期の解約・失効率は年換算前）であります。

②資産の状況等

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末
			16/3末比		
総資産	(百万円)	1,329,951	2.2%減	2.6%減	1,359,879
実質純資産額	(百万円)	236,295	3.5%増	54.0%増	228,394
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	19.0	0.7ポイント上昇	6.4ポイント上昇	18.3
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,439.4	178.7ポイント上昇	139.9ポイント上昇	1,260.7

※16/3末比、15/9末比は増減率（実質純資産額／一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント）であります。

③基礎利益・順ざや／逆ざや

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期
			16/3期比		
基礎利益	(百万円)	12,221	—	246.2%増	△5,545

※15/9期比は増減率であります。

		2017年3月期の予想	2016年3月期の実額
順ざや額(△逆ざや額)	(百万円)	△3,000	△3,148

④準備金

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末
			16/3末比		
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,204,966	36,214減	40,981減	1,241,180
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,120,110	12,475減	25,604増	1,132,586
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	84,855	23,738減	66,586減	108,593
価格変動準備金	(百万円)	1,022	118増	225増	903
危険準備金	(百万円)	16,844	1,731減	4,813減	18,576
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	1,866	228減	660減	2,095
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	9,447	—	123増	9,447
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	5,326	1,500減	4,265減	6,827
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	203	2減	10減	205
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—

※16/3末比、15/9末比は増減実額であります。

⑤含み損益

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
有価証券	(百万円)	144,179	7,265増	85,956増	136,913	58,222
うち国内株式	(百万円)	—	—	—	—	—
うち国内債券	(百万円)	89,934	2,143増	45,834増	87,791	44,100
うち外国証券	(百万円)	2,317	1,367増	2,139増	949	177
うち金銭の信託	(百万円)	51,927	3,754増	37,982増	48,172	13,944
不動産	(百万円)	—	—	—	—	—

※16/3末比、15/9末比は増減実績であります。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	1減	市場金利の変動に対して資産と負債のキャッシュ・フローの中立化のために最適なポートフォリオを保険商品の特性ごとにあらかじめ定め、運用してまいります。具体的には、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチングを主体とした運用を行ってまいります。
国内債券	(百万円)	33,422減	
外国株式等	(百万円)	—	
外国債券	(百万円)	35,011増	
不動産	(百万円)	—	

※上期実績は資金異動ベースでの増減額を記載しております。

※国内債券及び外国債券は、金銭の信託の設定・解約に伴う資金異動額を含めております。

※不動産は、建物付属設備を除いております。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2016年9月末時点
国内株式（日経平均）	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式（TOPIX）	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	1.0程度
外国証券	(円)	—

※国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数点第1位まで算出しております。

※外国証券は為替変動に基づく換算差額を為替差損益として処理しているため、算出しておりません。

⑧2017年3月期の業績見通し

		2017年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	120,000
基礎利益	(百万円)	△ 3,000
保有契約高	(百万円)	1,850,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	110,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2016年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

ii 銀行への拠出(総額)

		2016年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

⑩職員数

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
営業職員	(人)	—	—	—	—	—
内勤職員	(人)	233	1.3%減	—	236	233

※16/3末比、15/9末比は増減率であります。

⑪銀行窓販の状況

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※変額年金保険及び定額年金保険の販売は休止しております。

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	4,192	59.2%減	17,435	10,285
	金額(収入保険料)	(百万円)	31,289	65.1%減	151,845	89,725
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※15/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、一時払保険料を記載しております。

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
平準払商品	新契約件数	(件)	2,624	338.1%増	2,415	599
	金額(収入保険料)	(百万円)	969	458.4%増	758	173

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※平準払商品は無配当収入保障保険、無配当特定疾病収入保障保険、無配当特別終身保険の合計であります。

※15/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、1年分の保険料に相当する金額を記載しております。

その他質問項目（2016年9月）

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2016年9月期	16年3月期	15年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 13	△ 37	△ 3

※戻入額については△で表示しております。

以上